

# 漁況情報 No.18

平成 18 年 11 月 8 日発行

岩手県水産技術センター 漁業資源部

Tel : 0193-26-7915、Fax : 0193-26-7920、E-mail : [CE0012@pref.iwate.jp](mailto:CE0012@pref.iwate.jp)

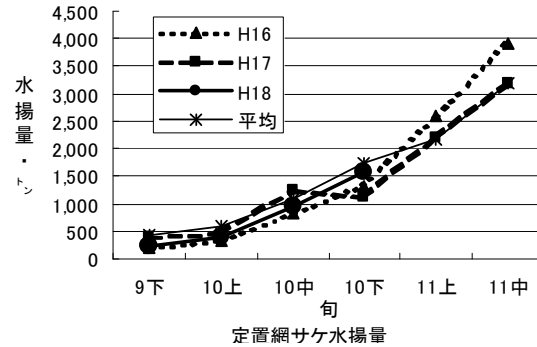
\* 本報は当センターホームページ (<http://www.pref.iwate.jp/hp5507/>) に掲載しています。

## << トピックス >>

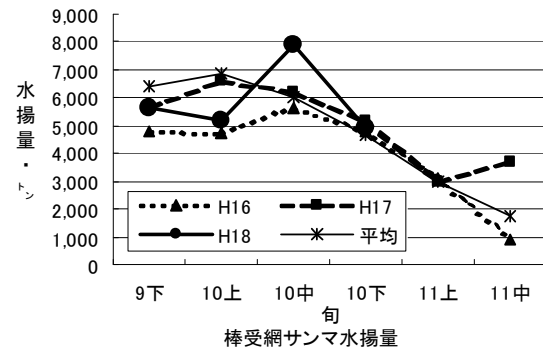
アキサケ(定置網)の旬水揚げは前年の 1.4 倍に増加しました。  
サンマ(棒受網)はほぼ前年並で推移しています。  
スルメイカ(いか釣り)は低調に推移しています。

### 1. 水揚げ状況

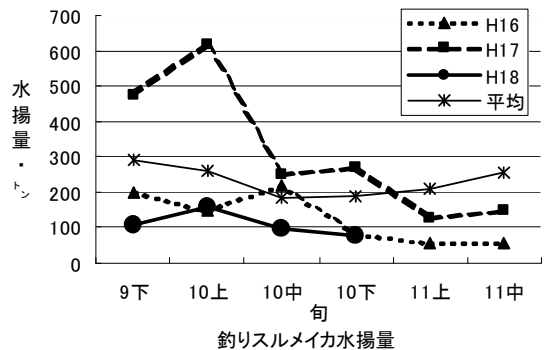
(1) アキサケ(定置網)は久慈、釜石、大船渡を中心に水揚げがあり、10月下旬の水揚げ量は1,569トン(前年の1.4倍)でした。また、10月下旬の過去5年間の平均水揚げ量は1,726トンで、旬水揚げはその91%でした。年累計は3,444トン(前年の98%)です。



(2) サンマ(棒受網)は宮古、大船渡を中心に水揚げがあり、10月下旬の水揚げ量は4,927トン(前年の95%)でした。また、10月下旬の過去5年間の平均水揚げ量は4,689トンで、旬水揚げはその105%でした。年累計は35,362トン(前年の97%)です。



(3) スルメイカ(いか釣り)は水揚げがまとまらず、10月下旬の水揚げ量は78トン(前年の29%)でした。また、10月下旬の過去5年間の平均水揚げ量は191トンで、旬水揚げはその41%でした。年累計は1,036トン(前年の31%)です。

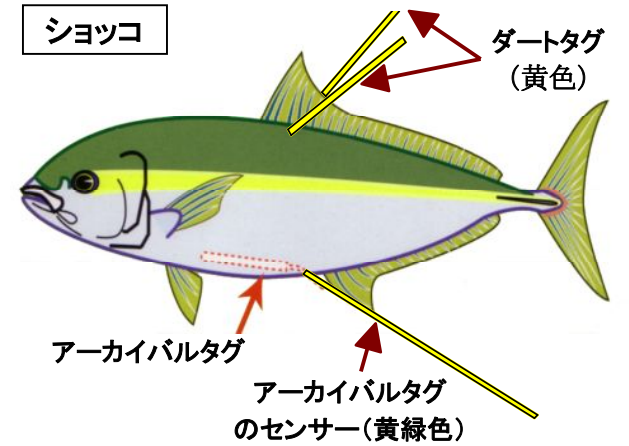


\* 水揚げ状況は主要6港(久慈、宮古、山田、大槌、釜石、大船渡)の集計です。  
\* 山田魚市場での水揚げは30日までの集計です。

### 2. 調査結果、その他の情報

(1) ショッコ(ブリ幼魚)標識放流について

11月2日に大船渡市越喜来の首埼付近でショッコにアーカイバルタグを付けて放流しました。このタグには時間・水温・水深・照度などのデータが蓄積されており、これらのデータを用いて、ショッコがどのような回遊をしているのか探ろうと試みています。



標識個体は腹部から長いセンサーが伸び、背鰭基部に黄色いダートタグが装着してあります。このようなショッコを捕獲した際は、当センター漁業資源部にご連絡ください。ご協力をお願い致します。

(2) マイワシ精密測定結果

10月下旬に水揚げされたマイワシ(釜石魚市場、定置網)の精密測定を行いました。体長のモードはオスが17.5cm、メスが18.0cmでした。

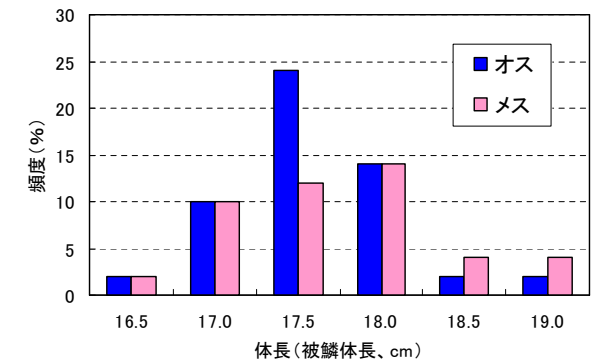


図1 マイワシ体長組成

### 3. 調査船調査計画(11月)

	調査内容	調査期間
岩手丸	沿岸定線海洋観測調査	11/1~2
	大型クラゲ、表層曳網調査	11/6~10
	底曳網調査	11/13~30
北上丸	タコ類カゴ標識調査	11/1~2
	カニカゴ調査	11/6~8
	サケ延縄調査	11/9~10、/15~17、/20~24、/29~30
	仔稚魚・動物プランクトン調査	11/13~14、/27~28

「フィッシャリイ・ネットいわて」(<http://www2.suigi.pref.iwate.jp/>)で、日別・市場別・魚種別の水揚げ状況、定地水温などを検索できますので、こちらもご活用下さい。